

2020年7月20日

各位

日本薬物動態学会第35回年会
年会長 山崎 浩史
昭和薬科大学 薬物動態学研究室

第35回日本薬物動態学会 / 第23回北米国際薬物動態学会合同年会中止のご案内

2020年10月4日(日) - 8日(木)に国際薬物動態学会(ISSX)と合同で米国ハワイ州ハワイ島 Hilton Waikoloa Villageにて開催を予定しておりました本合同年会は、国際的な新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、日米双方にて参加者の安全、安心などを慎重に検討した結果、中止することといたしました。

中止決定が遅れ、皆様には多大なるご迷惑をお掛けいたしますが、下段の事情がありました。お詫びを申し上げますと共に、ご理解の程よろしくお願いいたします。合同年会にて招待講演ご予約の先生方、一般演題ご登録の皆様方、若手支援事業応募者、事前参加登録者、年会参加ツアー応募の方々、企業展示ご検討の皆様、運営補助募金をご検討・頂戴した皆様方をはじめ、多くの関係者の方々には、このような結果となり、大変申し訳ありません。

合同年会の延期あるいは中止の検討経緯ですが、予定学会会場の契約は、講演会場等を併設するホテルへの延べ宿泊部屋数を主契約とする米国式であったため、自己都合にて契約停止あるいは少数参加者で強行開催した場合には高額な違約金が発生する恐れがありました。年会会期半年前から、会期延期を含め、会場ホテル側と慎重に交渉を重ねました。会期3ヶ月前に、新型肺炎感染拡大を理由に不可抗力条項に基づく無条件契約解除を会場側に申し入れました。この間、法的な契約遵守義務から、関係者に対する情報開示も厳格に制限されました。しかし、会場側と無条件での契約解除によりやむを得ず合意が成立し、本日の年会中止のお知らせに至りました。

事前参加登録をいただいた方への米国側からの返金手続きや、日本薬物動態学会定款に定める社員総会の国内開催、受賞講演、発表機会の確保に対する検討結果等については、改めて連絡をさせていただきます。

来年以降、2021年高崎年会、2022年横浜年会、2023年国際P450会議との合同国内年会が計画されております。今後とも、日本薬物動態学会の活動につき、よろしくご協力ご支援賜りますようお願い申し上げます。